

いい表情の子を育む

「○○の秋」と「○○のまち・かわさき」の○○の中には、共通の言葉が入ります。

はて？どのような言葉が入るでしょうか。

「○○の秋」というと、「芸術」「食欲」「読書」「スポーツ」などすぐに思い浮かべることができ
たと思います。では、「○○のまち・かわさき」では…？。川崎市のホームページを見ると、
「音楽」「読書」「映像」「スポーツ」の4つがあげられています。

なので、答えは「読書」と「スポーツ」になります。

「読書のまち・かわさき」事業では、家庭・地域・学校が連携しながら子どもの読書活動を
推進することをねらいにしています。「読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画」を
策定し、その中の1つの取組として市内小学校114校に学校司書を配置しています。本校も
今年度から学校司書が配置されています。そのおかげで、学校図書館が子どもたちにとって
居心地のよい場所となっています。また、学習の発展として使用する本を準備していただける
など、教職員にとって心強い存在となっています。そして、この事業では、「かわさき読書の日
(11月第1日曜日)」に合わせた子どもの読書活動の広報・普及啓発などしており、子ども
たちへ本の魅力を伝え読書習慣の形成を図ろうと努めています。

また、本市では誰もがスポーツに参加し、スポーツの楽しさを味わうことができる「スポーツの
まち・かわさき」をめざしています。そして、この事業の計画の中に「ホームタウンスポーツの
推進」があり、市内で活躍するトップチームやトップアスリートがかわさきスポーツパートナーとな
って、学校現場でふれあい教室を開いてくださっています。ご存知のように、子どもたちの体力
低下や運動経験の二極化が進み、深刻な問題になっています。本校においても、同様なこ
とができます。そして、運動の経験が少ないために、大きなけがにつながってしまうケースもあり
ます。少しでも体力が向上するようにと、小学校において「かわさきキラキラチャレンジ」という
取組が始まりました。その中でも、スポーツパートナーが子どもたちの運動への意欲を高めよう
と協力してくださっています。

さて、「暑さ寒さも彼岸まで」とよく言います。今年もお彼岸を過ぎてからぐっと涼しくなりまし
た。これからはばらけの間は、じっくりと何かに取り組むには最適な時季です。皆さんは、どのよう
なことに取り組んでいきますか。